

福祉と医療の学びを通じて、高齢者や障がい者に対して、より多角的に支援できる介護のエキスパートへ。

医療福祉学科

介護福祉専攻

取得可能な資格 介護福祉士(国)受験資格、社会福祉主事任用資格

目指す資格 認知症ケア指導管理士、レクリエーションインストラクター、福祉住環境コーディネーター®

介護福祉士(国)を基礎に3コースの選択が可能!

介護事業マネジメントコース

介護・福祉分野で将来的に起業や管理者を目指す基礎力を養う。

介護福祉の経営に関する介護報酬、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成などの知識を習得し、介護現場で力を発揮するスペシャリストを目指します。

目指せる資格 ■社会福祉主事任用資格 ■福祉住環境コーディネーター®
■レクリエーションインストラクター

目指せる進路 ■介護系企業 ■社会福祉施設 ■福祉機器・用具販売事業所 など



障がい児(者)支援コース

障がい児(者)分野で活躍できる介護福祉士を養う。

介護福祉士の基礎的教育をベースに、障がい児(者)の理解を深める専門科目を学び、多様な介護実習を経験しながら障がい児(者)分野で活躍できる介護福祉士を目指します。

目指せる資格 ■福祉住環境コーディネーター® ■レクリエーションインストラクター
■社会福祉主事任用資格

目指せる進路 ■障がい者支援施設 ■障がい児施設 など



医療・認知症ケアコース

医療的ケアや認知症ケアのスペシャリストを目指す。

医療的ケアに必要な根拠あるケア、認知症の人がその人らしく生活できることを目指す最新の技術を、地域でのフィールドワークを中心に学びます。

目指せる資格 ■認知症ケア指導管理士 ■レクリエーションインストラクター
■社会福祉主事任用資格

目指せる進路 ■老人保健施設 ■病院 ■認知症対応型グループホーム など



福祉・介護 × 保育・教育 × 心理 × 医療・リハビリ

つながる、ひろがる、チーム支援の学び。



学校法人 薫英学園

大阪人間科学大学

人間科学部

●社会福祉学科 ●医療福祉学科[介護福祉専攻／視能訓練専攻] ●子ども保育学科
●健康心理学科 ●医療心理学科[臨床発達心理専攻／言語聴覚専攻] ●理学療法学科

入試広報センター TEL.06-6318-2020 | 〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 | <https://www.ohs.ac.jp/>



時間割で見る対人援助のプロを目指す4年間

介護福祉士



資格取得と就職だけを目的にしない、

福祉のフィールドで長く活躍するために本当に必要な「価値ある能力」の獲得。

派手な教育ではないけれど、「成長に本気」な4年間が大阪人間科学大学にあります。

プロフェSSIONALを目指すみなさんにお届けする

介護福祉士になった一人の学生の軌跡。

ぜひご覧ください。



成長に、本気。

大阪人間科学大学

成長は、本物。



学生 × 教員

4 年次生

塚本 紗織 さん

医療福祉学科 介護福祉専攻 2016年3月卒業
取得資格：介護福祉士・社会福祉主事任用資格
オリックス・リビング株式会社・介護職
大阪府立山田高校出身

進路に悩んでいたときに祖母が倒れ、在宅酸素をすることになったことが介護に興味をもったきっかけでした。祖母が使用していた呼吸器は当時見たこともない機器で、これらについてもっと知りたいと思いましたし、もともと足が悪かった祖母の力になりたいと強く思いました。

その後、介護福祉士を目指すため入学した介護福祉専攻で、プロとしての経験が豊富で対人スキルも高い、目標にしたいと思える先生方に会いました。授業は、少人数のものが多く、分からないことを質問しやすい環境です。先生や学生同士の距離も近いので、恋愛相談も出来るくらい親密な関係を築けました。介護福祉士として活躍するためには、専門の知識や技術を身に付けるだけでなく、それらを自分の言葉で伝えることができないといけません。そのため1年次の後期から3年次の後期まで介護の専門分野をじっくり学びながら、得られた知識や技術を介護実習や介護のアルバイトで実践を繰り返しました。4年次では空いた時間を活かして後輩に介護技術を教えたり、介護記録等で必要となる文章表現やコミュニケーション方法を学べる授業を復習もかねて履修し、書く力、伝える力に磨きをかけていきました。介護福祉士を目指すには、専門用語や介護技術など覚えられないことがたくさんありますが、年金や社会保障制度など、生きていく上で知っておくための内容も勉強しますので、介護福祉専攻を進学先に考えている方は、やる気を強く持って入学してください。やる気のある学生には惜しみなく先生方は知識や技術を授けてくれます。あと、福祉の範囲はかなり広いので、自分の興味・関心がどこにあるのか、なんとなくでも構わないので普段から考えてみてください、就職を考えるときに役立つはずです。

私は、これまで一生懸命働いてきた高齢者の方々がやり残したことを、諦めて実現できなかった夢を叶えられるような介護職員を目指して4月から頑張ります。



教員

杉原 久仁子 准教授

所属：医療福祉学科 介護福祉専攻
担当科目：認知症の理解I、介護過程I
専門分野：高齢者福祉・認知症
保有資格：介護福祉士

入学当初からしっかりしているというのが塚本さんの印象でしたが、当時はまだ自分の力が出しきれていないからか、自信がなさそうに映ることもありました。4年間で介護福祉士としても、人としても安定した力を身に付けた彼女の姿は、成長した学生を象徴するような存在。進級するにつれて成長を感じる瞬間が何度もありました。介護過程や介護技術を教えている中では、考える力と表現力、利用者の立場にたった介護観をしっかりと身に付けていきました。2年次以降に多いグループワークや発表を取り入れた専門科目では、他者の意見に耳を傾け調整したり、まとめたりする力。さらには、発表時の表現力に磨きがかかっていきました。そういった力は、授業以外のところでも発揮されていて、同じ在学生の学習や学生生活の相談・アドバイスを行うSA（チューデントアシスタント）としての活動にも活かされていたと思います。自分が中心になってまわりを引っ張っていくこともできる一方で、友達が中心になって進める取組では、その友達をフォローしながら動くこともできる。卒業後は、細かいことに配慮ができ、利用者の気持ちが分かる介護福祉士になってくれると期待しています。

介護福祉は人と人のかかわりを通して相手も自分もより良く変わっていくことを体験できる仕事です。身体介護が介護のイメージとされることが多いですが、実際は外出やレクリエーションの企画、高齢者や障害のある人からの相談を受けることも介護福祉士の大きな仕事です。介護福祉専攻では、対象者を前にしてどんな介護が必要なのか、なぜその介護をするのか、その介護で対象者はどう変わっていくのかを考えることができる介護福祉士を育てます。グループワークを通して他者の意見を聞いて考えることで、いくつかの違う意見を調整してまとめる力が身に付きます。また、学内の授業だけでなく地域に出て住民さんと介護や認知症予防の取組を一緒に行うなど多様な学びを体験できることも本専攻の特長と言えます。

塚本さんの時間割

151単位修得見込み(卒業要件単位数124単位)

福祉分野の多様性を知る。専門職に必要な基礎知識を身に付ける。

◎1年次(前期)

	月	火	水	木	金	土
1	社会福祉I			FA演習I	人間科学概論	
2	相談援助演習I	オールワークショップ(英語)I		福祉機器論		
3	障害児教育論	相談援助の基礎と専門職I		オールワークショップ(中国語)	心の科学	
4			相談援助の基礎と専門職II		日本語基礎	
5						

◎1年次(後期)

	月	火	水	木	金	土
1		社会福祉II		FA演習II	医学知識	
2	介護技術(演習)I	介護概論I	人間関係		医学一般I	
3	実習指導(演習)I	オールワークショップ(英語)II	ソーシャルマナー	人権と倫理	高齢者福祉論I	
4			障害者福祉論	コミュニケーション(中国語)		
5						

関心分野を確定していく。支援者としての考え方や姿勢を身に付ける。

◎2年次(前期) 実習 介護実習 集中講義 ジェンダー論

	月	火	水	木	金	土
1		精神保健の課題と支援I	発達心理学		医学一般II	社会保障論I
2	介護技術(演習)II	相談援助の理論と方法I	高齢者福祉論II	介護技術(演習)III	介護技術(演習)IV	
3	福祉コミュニケーション	プレ演習I	介護概論II	生活科学概論	実習指導(演習)II	
4			介護過程I	レクリエーション活動		
5						

◎2年次(後期) 実習 介護実習

	月	火	水	木	金	土
1		障害者の心理				医学一般III
2	認知症の理解I	高齢者の心理	児童・家庭福祉論		プレ演習II	社会保障論II
3	介護技術(演習)IV	介護概論III	介護過程II		相談援助の理論と方法II	
4	実習指導(演習)III		介護技術(演習)V	形態別コミュニケーション		
5						

福祉の現場とのマッチング。実習を中心に実践経験を繰り返し、専門知識と技術に磨きをかける。

◎3年次(前期) 実習 介護実習 集中講義 リハビリテーション論

	月	火	水	木	金	土
1						
2	医療的ケアI					
3	介護過程III	介護技術(演習)VII	認知症の理解II	キャリアデザインIII		
4	実習指導(演習)VI			ボランティアマネジメント		
5		医療福祉学演習I				

◎3年次(後期) 実習 介護実習 集中講義 医療的ケアII

	月	火	水	木	金	土
1				ケアマネジメント論		
2			生活科学演習	人間工学		
3		介護技術(演習)VIII	生活科学演習	キャリアデザインIII		
4						
5		医療福祉学演習I	介護過程IV			

介護福祉士としての独自の強みを獲得する。

◎4年次(前期)

	月	火	水	木	金	土
1						
2	健康心理カウンセリング入門					
3			ストレスマネジメント		コミュニケーション論	
4		医療福祉学演習II				
5						

◎4年次(後期)

	月	火	水	木	金	土
1			社会問題論			
2			医療福祉学演習II	哲学		
3	文章表現法					
4						
5		福祉サービスの組織と経営				



STUDENT'S
VOICE

福祉の専門知識や技術を早く学びたいと、専門科目に目が行きがちでしたが、一般教養科目「人間関係」「ジェンダー論」で学んだ内容は、介護福祉士として活躍する上で有意義だったと感じています。福祉職にかかわらず支援者に必要な知識が得られました。

「介護技術」(演習)で、様々な介助方法を学内の実習室で学びました。学生同士で利用者を、介助者役を経験し、常に利用者さんの気持ちになって練習を繰り返した記憶があります。学外実習もこの学年から経験しました。

これからの介護福祉士に必要な医療的ケアの技術や介護計画の作成に必要な視点など、専門職としての高度な学びを多く経験しました。前年に引き続き経験した学外実習では、現場の専門職と実習生との意識や覚悟、責任の重みの違いを実感しました。

介護福祉士としての独自の強みを得たいと思い、カウンセリングやストレス管理の方法等、人の「こころ」に焦点をあてて学びを深めました。利用者さんを笑顔にするためには、まず自分が笑顔でいることも大事だと思います。今は、卒論を完成させるため頑張っています。